

## 愛知県指定有形文化財

### ①地蔵菩薩像(延命寺)

高さ87センチメートル、肩幅27センチメートルの像です。平安時代の中期から後期の作品といわれています。女性的で柔らかな美しい表情をしています。



## 豊山町指定有形文化財

### ②葬儀絵巻(延命寺)

高名な和尚の葬儀の行列を描いたものです。作成年代は安政5年(1858年)で、左から右へと絵が展開するとともに珍しい絵巻です。



## 豊山町指定記念物

### ③いちい榎(河村邸)

高さ15メートルの大木で、樹齢は500年以上と推定されています。1つの邸内に4本揃っているのは貴重です。

### ④楠(千松寺)

高さは25メートルの大木で、樹齢は500年ほどと推定されています。

## 愛知県指定有形文化財

### ⑤鑄造誕生仏(常安寺)

高さ13.5センチメートル、胴の直径2.5センチメートル、重さ260グラムの小さな立像です。右手を天に、左手は地を指した「天上天下唯我独尊」の形をなしています。材質は金・銅で保存状態は良く、光沢のある漆黒色を呈しています。

## 豊山町指定有形文化財

### ⑥薬師如来坐像(長寿寺)

檜造高さ32センチメートルの像です。長寿寺薬師堂の本尊であり、秀麗な面貌表現・深淺を交えた写実的な衣文はとても際立っています。

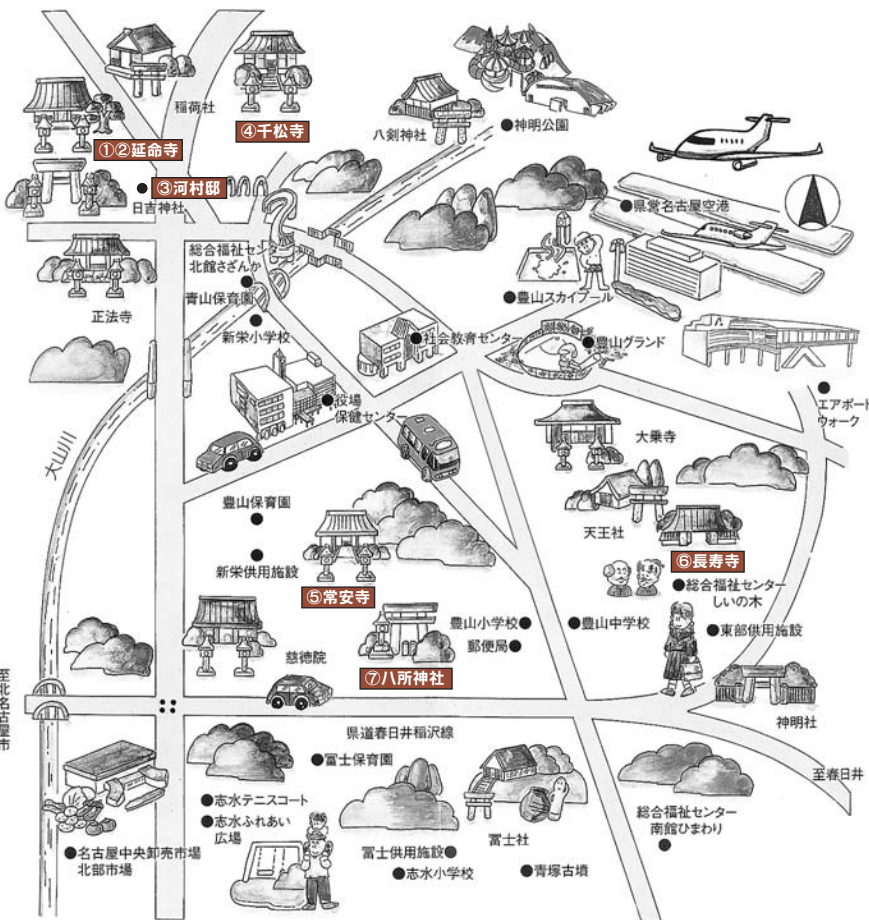


## 豊山町指定有形文化財

### ⑦狛犬(八所神社)



木造、阿吽の1対で、高さは40センチメートルです。作風は室町時代の特徴を示しています。



特集

▼問合せ  
0396 生涯学習課 生涯学習係  
☎ 28

## 豊山町指定無形文化財

### 伊勢山神楽

伊勢山神楽は、今から300年ほど前、豊場村に伊勢山地区が誕生した頃から受け継がれてきたといわれています。伊勢山神楽保存会が設立され、毎年秋に行われる八所神社や伊勢山神明社の祭礼に、神前神楽を奉納しています。

### 神楽

八所神社に伝わる大太鼓が購入された時期から、江戸時代の後期頃に始まったものと推察されます。現在も神楽保存会によって傳承され、毎年、八所神社で行われる厄除けや輪くぐり、大晦日の神前神楽などで広く親しまれています。



### 木遣

古くは大正5年、八所神社の拝殿の竣工式の時に、木遣音頭による棒振りが奉納されています。昔は町内で新築の家の上棟式が行われる際に木遣が唄われ、丸餅を投げお祝いしたようです。昭和44年に豊山木遣保存会が発足し、八所神社で行われる重ねの朔日には毎年木遣が華を添えています。

